

IT等の技術革新を捉えた今後の規制改革の課題について

國領二郎（慶應義塾大学）

1. 不断の改革が必要：一発逆転はない
 - 技術と制度によって構成されるシステムは時の技術や経済社会情勢の中で有効な結果をもたらすことを志向して設計される ⇒ 技術や経済社会環境の変化によって、常に古くなる
 - 適切な規制は技術を有効に活用するために必要。但し不断の見直しが不可欠
 - 規制は外形的に担保可能な手段で規定される場合が多い ⇒ 変化の中で障害の原因になる場合が多い。例えば対面原則などは、対面そのものが目的ではなく、十全のコミュニケーションの担保が目的。ところが、技術が発達しても外形基準だけが残り、時にイノベーションの邪魔になる
 - イノベーションのジレンマに要注意。新しい技術は古い技術の評価基準（それが時に安全基準などに盛り込まれて疎外要因に）では劣ると判断される場合が多い。新しい技術のメリットを積極的に評価しつつ、古い基準では許容十分基準（good enough）を適用すべき。比較すべきは無医療と遠隔医療であって、対面医療と遠隔医療ではない

2. 目的・目標を明確に意識した規制改革を
 - 生産性向上による高齢化・少子化問題の突破
⇒ 人的・物的資産の高度活用による資産収益率の改善。労働法制や業法改革
 - 次世代産業におけるリーダーシップ確保
⇒ 新しいビジネスを自由に推進するための環境整備
 - IoT・ロボット・人工知能などによる既存産業の競争力維持・強化
⇒ 技術的優位に加えて、ビジネスモデルの変化（売り切り型ビジネスからサービス型ビジネスへの転換等）に対応する

3. いくつかの重点分野について
 - 地方における必須サービスの固定費を下げ、地方の自律的維持を助ける取り組み
 - 遠隔医療 ⇒ 診療報酬体系などに反映
 - 遠隔教育 ⇒ 大きく前進はしたが、まだ様々な制約が残っている
 - 子育て世代や女性や高齢者などに生産に参加してもらうための支援
 - 在宅ワーク ⇒ 残業や深夜就労などをめぐる規制緩和が必要
 - 台頭しつつある、新しいモデル、アルターナティブなモデルに機会を与える
 - シェアリングエコノミー ⇒ 資産収益率を高める。業法などの垣根を取り払って、たとえばタクシーによる荷物配送を認める。旅館業法や道路運送法の改革
 - Fintech、ロボット活用などの新しい業態を積極的に育てる

- IoT などの可能性とともに生まれるであろう課題に対応する体制を作る
 - 既にデータの知的所有権問題などが課題として浮上している

- 4. これまでの取り組み状況について
 - 規制制度改革分科会の取り組み
 - 規制改革会議、産業競争力会議などと、分業、連携しながら推進している
 - 書面義務を定めている法令の全数調査（参考資料1）。遠藤 CIO のリーダーシップによって、網羅的な点検作業が行われ、状況の把握が進んだほか、システムティックな対応が可能となった。但し、担当府省による自己評価に基づいており、A となっているものの中にも、まだ課題が潜んでいる場合がある
⇒ 今後、重要項目を取り上げてさらなる点検を進める
 - 中央官庁のみで完結する手続き類はかなり進んでいる。今後は地方一民や、民一民の取り組みが重要となる（参考資料2）。ただし、地方自治原則が壁となる

- 5. 今後の展開
 - IT 利活用新法の制定に向けて議論の集約をしていく必要がある
 - デジタルファースト原則の貫徹をはかりたいところ。それがなければマイナンバーなどを導入した意味が薄れる
 - 通信インフラをめぐる競争の枠組みが、20 年ぶりに大きな課題になりつつある
 - 通信業界で寡占化の弊害が見え始まっている。再販に過ぎない (M) VNO 方式には限界がある。電波オークションなども俎上へのせ、競争促進をはかる施策を検討すべき
 - 寡占状態になった時に注意しなければいけないのは硬直化。今後、IoT に適したネットワークの技術や料金体系が、ブロードバンドのそれとは異なる(?) ことが予想される。音声を中心としたネットワークからデータを中心とするネットワークへの変化の時と同じような軋轢が生まれる可能性が高い。たとえば一デバイスあたり、月額基本料が 1000 円で管理するデバイスが 1000 万台あると 100 億円になる
 - デバイスの認証及び利用者との紐づけが焦点となる。IoT を展開するメーカーは、当然 MVNO や VNO 上で自社製品の特定と管理を行いたい。その機能を誰が担うか？料金体系は？個人の属性情報との紐づけは？ネットワークに依存させる場合には、それらの機能のオープン化が課題となる。さまざまな形態が登場するものと思われ、それを自由に競争させつつ標準化を進める知恵が必要

以上